



関中学校だより

第6号 平成28年12月21日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-kyo.ed.jp/>

親の小言と茄子の花は千に一つも無駄がない

校長 勝亦章行

「親の小言（意見）と茄子（ナスビ）の花は、千に一つも無駄がない」という諺があります。これはどのような意味でしょうか。これは、茄子は花が咲くと結実する。つまり花が全て実になり無駄がない。親の小言や意見も、茄子の花と同じように無意味ことはない。人の道として正しいことを言っている。しっかり聞くことが大切である。という意味です。

さて、生徒の皆さんはどのように思うでしょうか。

- ・全くその通りである。親の小言や意見は、しっかり聞かなければならない。
- ・茄子の花も必ず結実するとは言えない。完全な人間などいない。親も同じである。親の小言や意見が、全て正しいとは思えない。
- ・親が育った時代とは、今は全く違う。昔は正しい諺であったかもしれないが、今の時代では当てはまらない。
- ・テレビや新聞などの報道から、自分の子へ体罰や虐待する親もいる。全ての親の小言や意見は、正しいとは言えない。
- ・大人になって、自分が親になって、この諺が正しいと思うときがあるかもしれない。確か親がそんなことを言っていた気がする。

このような意見が聞こえてきます。どうでしょうか。

これらの意見は、全て正しいと思います。

この諺が意味する本当の意味とはこのように考えます。

親の小言や意見は、自分自身のために自分がよくなってほしい、良き道を選んでほしい。言い方や表現の仕方がやや分かりにくい、誤解を与える部分もあるかもしれない。しかし、小言や意見を言われたら、まず聴くこと。そして自分自身でよく推敲し咀嚼し理解することだと思えます。

時が経ってから分かることもあります。その立場になって分かることもあります。特に自分が親の立場になって分かることもあります。

ところで、学校生活では、先生方は親代わりです。先生は指導をするのが仕事。指導には、きつい小言もあります。先生も完全な人間ではありません。表現や言い方がきついときがあります。しかし、その指導に耳を傾けることは大切なことだと思えます。関中生の多くの生徒は、このことを理解していると思っています。

なかなか今の時代には忘れかけた諺かもしれません。しかしこの諺は、昔からの教えとしてずっと受け継がれてきたものです。今ではあまり使わなくなっていますが、その意味を自分なりに考えてもいいのではないのでしょうか。「親の小言と茄子の花は、千に一つも無駄がない」

9月1日に始まった2学期。この間、中間考査、連合陸上大会、2年職場体験、1年校外学習、生徒会立会演説会・生徒会役員選挙、連合音楽会、オリンピックパラリンピック「夢・未来プロジェクト」、合唱コンクール、避難拠点訓練、期末考査、後期生徒総会、2年東京学習、全校道徳、三者面談等様々な教育活動が行われてきました。

保護者の皆様、地域の皆様には、何かとご協力ご支援をいただきました。ありがとうございました。佳い年をお迎え下さい。

ふれあい月間 全校朝礼（11月7日 月曜日）

11月は、「ふれあい月間（いじめ防止月間）」です。そこで、11月7日（月）の全校朝礼で、黒田副校長先生が「いじめ」について話をしました。次のような話をしました。

最近、いじめによる痛ましいニュースがテレビや新聞で報道される度に、本人の辛かった気持ちや、家族の方は「なぜ」「どうして」という非常にいたたまれない悲しい気持ちを考えたりします。いじめはどうしてなくなるのでしょうか。

「あなたの学校には、いじめがありますか」と聞かれたら何と答えますか。

11・12・1月 行事予定

日	曜	予定
1	火	ふれあい月間 3年三者面談
2	水	3年三者面談
3	木	文化の日（祭日）
5	土	P T A 互選会
7	月	全校朝礼、P T A 本部会、生徒会各 種委員会
8	火	石神井台小学校の 6年生関中訪問
12	土	第二土曜授業、2 年避難拠点訓練、 生徒会中央委員会
14	月	保護司会主催地域 集会、S C 来校
15	火	期末考査（英語・ 技家）
16	水	期末考査（数学・ 音楽・国語）
17	木	期末考査（理科・ 社会・保体）第二 回校区别協議会
22	火	生徒総会、クリー ン運動始
23	水	勤労感謝の日 （祭日）
24	木	1年歯科講話
25	金	2年校外学習
29	火	P T A 運営委員会
12月		
5	月	全校三者面談始 S C 来校
9	金	関のボロ市
10	土	第二土曜授業、全 校道徳、ボロ市
12	月	全校三者面談終
14	水	学校評議委員会
16	金	避難訓練
21	水	大掃除
22	木	2学期終業式、成 績相談日
23	金	天皇誕生日（祭日）
26	月	冬休み始、成績相 談日
1月		
5	木	3年成績一覧表調 査委員会
6	金	冬休み終
9	月	成人の日（祭日）
10	火	3学期始業式
11	水	安全指導
14	土	第二土曜授業、2 年スキー教室保護 者説明会、区生徒 作品展（始）

関中学校には、「いじめ防止基本方針」があって、いじめが起きないように未然防止・早期発見・早期対応に取り組むために作られています。この中には、「いじめは重大な人権侵害であり、決して許されるものではない」「いじめは、どの生徒にも、どの学校にも起こり得るとの認識に立ち、いじめが発生した場合には、いかなる理由があっても被害者の側に立ち、組織で対応する」という基本姿勢が書かれています。

11月は「ふれあい月間」として、生徒の皆さん全員がいじめアンケートに取り組めます。皆さんが自信をもって、「関中学校にはいじめはありません。」と言える、安心して楽しく学べる学校をつくりましょう。

青少年育成関地区委員会主催 すこやか中学生ボランティア隊（車椅子体験）



青少年育成関地区委員会すこやか部会主催で、中学生ボランティア隊（車イス体験）が、10月8日（土）に行われました。

本校の家庭科部を中心に参加しました。

車イス体験を通して、車イスで町中を移動するとき、様々な障害物があることを実感をもって感じることができました。ちょっとした段差や階段が大変です。

また、車イスの方に手助けをする方法も学びました。

学校歯科医の先生による、秋の2年歯科検診・1年歯科講話を行いました。

池田先生（学校歯科医）による2年歯科検診を、10月13日（木）に行いました。学校保健安全法では、6月末までに定期健康検査を行わなければなりません。しかし、関中学校では学校歯科医の池田先生より、歯の健康を守るためには、秋の歯科検診を実施することが効果があるとの助言をいただき、2年生を対象に秋も2年生に歯科検診を行っています。

また、1年生対象に、11月24日、歯科講話を行いました。内容は、「ハナシにならない話」で、歯の構造、むし歯になる過程、かむことやだ液の大切さ、むし歯になりやすい人の生活例などについて、スライドを使いながら、分かりやすく説明をしてもらいました。ありがとうございました。

避難拠点訓練（11月12日 第二土曜日）で、自助・共助の大切さを学ぶ

関中学校では、11月12日（土）に避難拠点訓練を行いました。本校の訓練の特色は、2年生全員が参加することです。関係諸機関と連携しながら、「自助・共助」を学ぶことを最大の目的としています。つまり、万が一災害が起きて、関中学校が避難拠点として開かれ、地域に住む避難民が関中学校に来たときに、関中生が避難拠点所の運営の手伝いができるようにすることです。いざとなれば、中学生はかなりの力を発揮し、地域のために尽力することができます。

今回の避難拠点訓練では、関町北四・五丁目町会、練馬区区民防災課、練馬区避難拠点要員、日本ボーイスカウト連盟練馬支部、消防署、PTA本部役員、PTAサポーターの協力を得て行いました。

訓練は、仮設トイレ組立、バーナー操作、アルファ米炊飯、備蓄倉庫内装備品説明、搬送訓練、軽可搬ポンプ取扱訓練を行いました。

練馬区では、区立小学校・中学校99校を避難所と防災拠点機能を併せ持った「避難拠点」として位置付け、地域の区民の方（運営連絡会）と区職員・学校教職員が協働して「自分たちのまちを、自分たちで守る」体制を作っています。関中学校は、避難所であるとともに、給水拠点の指定を受けています。また、各学校には備蓄庫があり、700人分の避難生活に必要な物品があります。

2年生は、自助、共助の意識が高まり、災害が発生した時は、大きな力を発揮してくれるはずですよ。



軽可搬ポンプを使っでの放水訓練



毛布と棒を使っでの担架搬送訓練の様子



仮設トイレ組立訓練の様子



心肺蘇生法の訓練（40人が参加）



アルファ米にお湯を入れている作業の様子



P T A 役員及びサポーターの方に手伝っていただきました。

伝統の「合唱コンクール」(10月25日 火曜日 練馬文化センター・大ホール)

伝統ある関中学校の合唱コンクールが、10月25日(火)練馬文化センター(大ホール)で開催されました。各学年の発表、P T A 合唱による合唱が行われました。特に3年生の合唱は、どのクラスも素晴らしい合唱でした。さすが3年生です。

特別審査員に、昨年度に引き続き、塚田 誠先生をお招きしました。保護者の方が、1年148人、2年131人、3年184人、地域来賓20人の計483人来ていただきました。ありがとうございました。

学年	課題曲	自由曲					
		A組	B組	C組	D組	E組	F組
1年	カリブ夢の旅	怪獣のパレード	行き先	絆	空高く	道	変わらないもの
2年	時の旅人	あなたに会えて	明日へ	明日に渡れ	心の瞳		
3年	大地讃頌	生きている証	春に	ヒカリ	予感	信じる	

	Gold 金賞	銀賞
1年	D組	E組
2年	B組	D組
3年	B組	E組



金賞・銀賞トロフィー



ポスター



3年生全員による大地讃頌の合唱



Gold金賞の3年B組の合唱



P T A合唱（素晴らしい合唱でした）
「いっしょに」「Winding Road」「Memory」
「世界に一つだけの花」

関地区祭（10月22日 土曜日）にウインドアンサンブル部が出演



関地区祭 素晴らしい演奏を披露しました。

10月22日（土）ウインドアンサンブル部は、関地区祭（関地区センター）で、演奏をしました。ウインドアンサンブル部は、「第二光陽苑納涼祭」や「やすらぎの杜秋まつり」、「アスク保育園の運動会」など、地域のいろいろな場で演奏をしています。また、練馬区中学校連合音楽会に、10月6日（木）参加しました。「塔の上のラプンツェルメドレー」「エル・クンパンチェロ」を演奏しました。

第二回 校区別協議会（11月17日 木曜日）

石神井台小学校と関町北小学校と関中学校の三校は、小中連携・一貫教育を進めています。研究主題は、「中1ギャップの解消を図るための小中一貫教育の工夫」です。

11月17日（木）に石神井台小学校に三校が集い、授業観察後に分科会を実施しました。小学校の算数の授業に、関中学校の片山先生が数学の授業を実施しました。（右写真）



分科会は、

第1分科会〔教科分科会（国語） 教科分科会（算数・数学） 教科分科会（外国語活動・英語）〕

第2分科会（小中の交流）

第3分科会（スタンダード 学校のきまり等）です。

また、小中交流の一貫として、10月12日に関町北小学校の2年生がまち探検で来校。11月8日に、石神井台小学校の6年生が関中学校を訪問し、生徒会役員から中学校生活と生徒会活動について説明を受けました。そして、授業及び校内施設見学を行いました。

後期生徒総会（11月22日 火曜日）



活発な質疑応答があった生徒総会



内藤生徒会長の挨拶（スローガンは、不屈）



各委員会が定めた手作りのスローガン



各学級から事前に選ばれた質問者

後期になり、新生徒会役員、新生徒会各種委員となり、本校体育館で後期生徒総会が開催されました。この総会で、生徒会役員会、各種委員会の方針・活動内容が提案され、採択の結果、承認されました。

生徒会のスローガンは、「不屈 ～困難にも立ち向かう～」です。

生徒会役員会の重点目標としては、次の通りです。

- | | |
|------------------|------------------------------|
| (1) あいさつ運動 | 「自然な挨拶あふれる関中へ」 |
| (2) 募金活動 | 「思いやりのある関中へ」 |
| (3) 情報の発信 | 「身近にある生徒会へ」(生徒会誌セキセイの充実) |
| (4) 部活動との連携 | 「部活動に全力で取り組む関中へ」(挨拶運動を部活ごとに) |
| (5) ボランティア活動の活性化 | 「関中エコライフへ」 |
| (6) 意見箱の活性化 | 「意見が飛び交う関中へ」(校内にいくつか意見箱を設置) |

各委員会のスローガンと関中活性化のためのキャンペーンは、次の通りです。

委員会名	スローガン	関中活性化のためのキャンペーン
3年学級委員会	自ら光を放つ灯火となれ	朝礼ですから皆さん忘れずにお越し下さい。 キャンペーン
2年学級委員会	Let's enjoy 輝く中堅学年	朝の予鈴着席キャンペーン」
1年学級委員会	あきらめるんじゃない 続けるんだ	忘れ物チェックキャンペーン
整備委員会	作ろう！ 快適な学校	おいていってよいもの
保健委員会	毎日快調！ 欠席解消！	ハンカチ・ティッシュチェックを行います
給食委員会	給食で、みんなの笑顔をつくります！	リクエスト権をとるのは、どのクラスだ！？
図書委員会	みんなが使いたくなるような 学校図書館へ	ハートタイム静読キャンペーン
放送委員会	パーフェクトアナウンス	朝礼への呼びかけキャンペーン
体育委員会	体育委員 PRIDE ~最高の SMILE~	休み時間に外に遊びに行った人が多いクラス を表彰キャンペーン

2年東京学習（11月25日 金曜日）

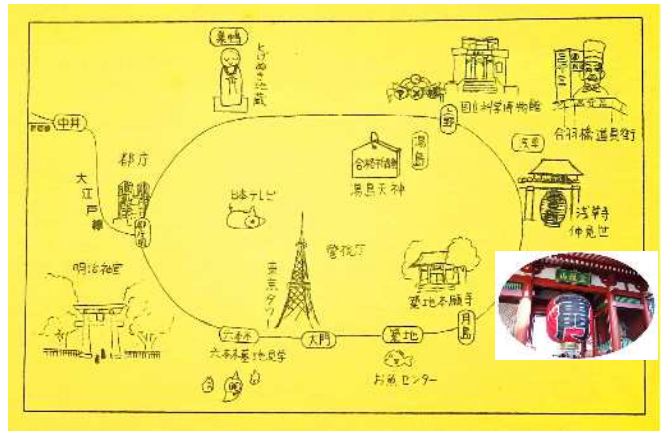
関中学校では、1年で校外学習「練馬を知る」、2年で校外学習「東京を知る」、3年の修学旅行「日本（古都）を知る」という流れがあります。

2年生の校外学習「東京学習」が天候にも恵まれ、実施されました。26班に分かれての班行動での学習。自分たちでコースを決めてのフィールドワーク。東京にある様々な文化施設、名所、史跡等を直接見て、体験する活動を通して、東京の意外な発見がありました。来年度の修学旅行につながる学習となりました。安全対策上、各班には携帯電話と居場所が分かるGPSをもってもらいました。

行動範囲は、都営大江戸線を中心としたエリアでした。



浅草雷門近くで撮影しました



生徒が作成したしおりより（都営大江戸線エリア）

主な訪問先

浅草寺、浅草仲見世、スカイツリー、日本科学未来館、下町風俗資料館、上野東照宮、東京国立博物館、西洋美術館、科学技術館、国立近代美術館、東京タワー、日本テレビ、カナダ大使館、明治大学博物館、江戸東京博物館、築地、野球殿堂博物館、警視庁、TBS等

全校道徳「骨髄移植とドナー提供」～『ガン』と共に生きる 自らの経験をもとに～（12月10日 土曜日）

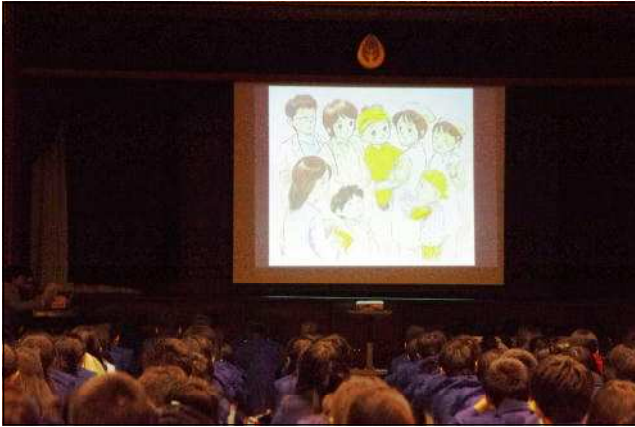


全校道徳は、12月4日～10日までが人権週間であることから、この時期に関中学校では、命の尊さを主題にした全校道徳を実施しています。

公益財団法人「日本骨髄バンク」の協力を得て、左にある「春ちゃんは元気です」をプロの語り手が、本をプロジェクターに投影しながら進められました。

この「春ちゃんは元気です」は、急性リンパ性白血病になった4歳の春ちゃんが、骨髄移植を受けて、白血病と闘い抜いた物語です。

これは実話をもとに松田のぶお氏が書かれた本です。（本校の学校図書館にあります）



スライド映写とともに、プロの語り手が本を朗読しました。



松田のぶおさん（左）と日本骨髄バンクの小島さん

本の内容（概要）・・・4歳になってまもないころ、春ちゃんは、急性リンパ性白血病になってしまいました。苦しい闘病生活を経て、やっと見つかったドナーからの骨髄移植。しかし、その後再び白血病となり、今度はお父さんからの二回目の骨髄移植を実施。厳しい闘病生活後、骨髄移植が成功。今では、春ちゃんは高校生になって元気です。松田 春ちゃんの実話に基づいた物語です。

この「春ちゃんは元気です」を執筆した松田のぶお氏も、この全校道徳に来てくれました。日本骨髄バンクの小島さんからインタビューで、「ドナーの方には、父親として本当に感謝している。」と話されていました。小島さんからは、「患者と合うドナーが見つかることは、大変低い確率であること。その手伝いを日本骨髄バンクが行っていること。こうした骨髄移植のことを生徒のみなさんに知ってもらう機会を与えてもらったことに対して感謝します。」と話されていました。

白血病・・・血液を作る細胞の異常で、ガン化した血液細胞だけが増え、正常な血液が作れなくなる病気です。血液のガン。骨髄移植は、白血病治療には、大変有効な方法です。しかし、ドナー（骨髄提供者）と患者の白血球の型（HLA型）が一致する必用があります。しかし、HLA型は、数万通りあります。つまり、なかなか患者に合うドナーが見つからないという状況があります。

日本骨髄バンク・・・骨髄移植や末梢血幹細胞移植のコーディネーター等を行っている公益社団法人です。患者さんとドナー（骨髄提供者）をコーディネートします。連絡調整をします。また、骨髄バンクについて普及啓発活動を行っています。

ドナー（骨髄提供者）・・・年齢が18歳以上、54歳以下で健康な方。ドナーの方の善意で骨髄を提供してくれる方です。ドナー登録は、強制されるものではありません。自らの意志でなるものです。

骨髄・・・人体にある骨の内部に存在するスポンジ状の組織です。その中には、造血幹細胞が含まれています。造血幹細胞とは、赤血球、白血球、血小板のもとになる細胞です。つまり、血液は、骨の骨髄で作られています。

生徒の感想

春ちゃんは、まだ幼稚園に通っている歳に2回も白血病と闘って、すごく頑張ったと思います。泣きながらも、元気になりたいという思いだけで、辛い点滴にも耐えて、すごく大変だったと思います。そして、何より、春ちゃんを元気にしてくれたのは、ドナーさんのお陰だと思います。姉弟の中で1/4の確率、血のつながっていない人で、1/10000の確率でしか、自分と合う型の人が見つからないということを知り、今だったら痛そうだから自分には無理だと思いましたが、これからは、自分にしか提供できない骨髄なのかもしれないので、ドナー登録することを考えてみようと思いました。

関のボロ市 本校PTAOB会「つばさの会」が出店（12月9日 金曜日・10日 土曜日）



本校PTAのOB会であるつばさの会が、関のボロ市で今年も出店しました。このボロ市に合わせて毎年出店しています。

事前準備から本校PTAの方も協力していただきました。また、本校PTAの生活委員会ではパトロールをしてもらいました。ありがとうございました。多くの教員もこのパトロールに参加しました。

関のボロ市は、江戸時代から続いています。本立寺で日蓮宗の宗祖の命日に営まれる「お会式（おえしき）」に合わせ、毎年12月9日と10日に行われています。寺の門前には、賑やかな市がたち、「年の市」、「暮れの市」、「お会式の市」とも呼ばれています。江戸時代には、ぼろ布や農機具、正月用品などが売られ、近くの農家の方がたが生活必需品などを購入していたと言われています。

（練馬区ホームページより引用）

3年生全員を対象に、校長と副校長が面接指導を実施しました。

11月18日より3年生全員を対象に校長面接指導を行っています。面接指導も地域の方にも入ってもらうなどいろいろな方法があります。しかし、関中学校では、校長と副校長が、3年生全員について面接指導を行っています。一人15分間。礼儀作法、身だしなみ、話し方、姿勢、質問に対する内容等について指導しています。

3年生は事前に答弁内容を考えているものの、こちらの質問に戸惑う生徒もいます。各生徒には、評価とコメントを渡しています。評価はA B C Dの4段階でつけていますが、全ての項目でオールAはなかなかありません。全体的に言えることは、声が小さい点が挙げられます。しかし、志望理由を大変明確に話すことができる生徒もいます。指摘した注意点を改善して、本当の面接試験では自分のよさを100%出し切って、志望校合格を勝ち取ってほしいと願っています。

インフルエンザに注意

これから益々寒く乾燥した天候となり、インフルエンザも本格的流行期に入ります。年末年始の様々な行事で、人混み合うところに行くこともあると思います。うがい、手洗い、マスクの着用をしっかりと行って下さい。また、感染性胃腸炎も流行り始めています。特に、3年生は来年早々にも入学試験があります。体調管理をしっかりと行って下さい。

無料通信アプリ（LINEラインなど）を介してのトラブルに注意して下さい。

スマートフォン（多機能携帯電話）などの無料通信アプリ（ラインなど）を介しての生徒間のトラブルが、社会全体でも問題になっています。

関中学校では、携帯電話やスマートフォンを学校に持ち込むことは「厳禁」です。

校外での使用により、行き違いや表現が不適切なために誤解が生じ、トラブルが発生してしまうことがあります。もちろん、悪意をもって相手を中傷誹謗する言葉を相手に送ることは、行ってはいけません。悪意をもって写真や動画などを発信することも、人権侵害になります。子どもだから許されることはありません。

何かあれば学校へ相談して下さい。また専門の相談機関もありますので、紹介します。

東京都青少年・治安対策本部青少年課「こたエール」（電話：03-3500-5181）

ネット・ケータイのトラブル相談に対応してくれます。

防火シャッターを閉めた状態での避難訓練を実施しました。



12月16日（金）6校時、1階の防火シャッターを閉めた状態での避難訓練を初めて実施しました。

この防火シャッターは、火災の延焼を遮るために各階に設けられています。万が一火災が発生した場合、センサーが感知して、防火シャッターは自動的に閉まります。そうした中を生徒は避難する必要があります。

防火シャッター業者にも協力してもらい1階にある東、西の防火シャッターを閉めた状態で避難訓練を実施しました。

生徒には、怪我防止のために、事前に1階の防火シャッターが閉まっていることを伝えておきました。

左の写真は、防火シャッターが閉まっているため、その横にある非常扉から校庭に避難する生徒の様子を撮った写真です。

実際に火災が発生した場合は、1階から4階まである、8つの防火シャッターが閉まることになります。今回の避難訓練の目的は、防火シャッターが閉まっても、的確な判断のもと、安全に避難することができるための訓練でした。避難訓練は、怪我なく無事に終えることができました。